

令和6年自己評価報告書

学校法人 來間学園

アポロ美容理容専門学校

評価項目の達成および取り組み状況

基準1 教育理念・目標・育成人材像

<評価項目> 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

| | |
|----------------------------------|----|
| 理念・目的・育成人材像は定められているか | …4 |
| 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか | …4 |
| 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか | …4 |
| 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか | …4 |

- ・本校は理容師法及び美容師法並びに学校教育法に基づき、理容師および美容師としての高度な専門知識・技能を習得させると共に豊かな人間性を育て、品位ある理容師・美容師の養成を目的としている(本校の第1条)。
- ・「奉仕の精神」は決して自己を犠牲にすることなく、社会を通じて自分を活かし、高め、人間として成長していくことを意味している。この心の上に技術を積み重ねることが、美容理容に限らずすべての技術者の成功と将来の幸せに必ず繋がる。本学で学ぶ一人ひとりが一日も早くこの心の在り方に気づき、それを日々の姿勢として大きく育てていってくださることを願い、心技兼ね備えた人材育成に努めている。
- ・関連業界の人材ニーズは明確に認識しており、業界・企業等からの十分な協力を得て教育課程等を策定している。高いレベルの職業教育と充実した施設環境が特色に挙げられる。美容師・理容師試験合格を第一義に、理美容に関する内容を総合的に習得できるよう、業界等との協調体制をもって実社会におけるニーズを観察把握し適宜カリキュラムに反映している。
- ・重要案件に学生募集対策が挙げられるが、相対的に有効と思われる対策を見出すべく要因毎に分析を試み、全教職員の一体的な取り組みが出来るようにしていきたい。

基準2 学校運営

<評価項目> 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

| | |
|------------------------|----|
| 理念等に沿った運営方針を定めているか | …4 |
| 理念等を達成するための事業計画を定めているか | …4 |
| 設置法人は組織運営を適切に行っているか | …4 |
| 学校運営のための組織を整備しているか | …4 |
| 人事・給与に関する制度を整備しているか | …4 |
| 意思決定システムを整備しているか | …4 |

を確立。個々の学生の習熟度・理解度を把握し、レベルに応じて入念にサポートしている。また、日々の指導を通じて将来に対する意識や目的意識、自立意識の涵養を図っている。

- ・専門科目/一般科目、必修科目/選択科目は根拠法に則り適切に配分している。目標到達・職業実践教育双方の観点から科目毎に適切な授業形態を選択配分している。外部見解や意見は都度検討し必要と判断する内容は採用するようにしている。
- ・資格・免許の必要性、重要性を真に理解させることがモチベーション向上にも繋がる。今後も有資格者であることの社会的信頼度の高さを啓蒙しつつ、学生個々をサポートしていく。
- ・教員については一定水準の人材を確保しており、外部の研修・講習等への参加を奨励している他、学内でも教職員間で積極的に勉強会を実施している。教員個々が自身の職責を十分に自覚し、一層の自己研鑽に努めることが強く望まれる。後進への教育徹底により教授力の水準維持を図り、同時に全体的なレベル向上に取り組んでいきたい。教員間は常時適切に協業しており、通常授業は勿論課外授業や補講等まで、授業方法にも工夫を凝らした手厚い指導体制を整備している。関連業界内での本校出身者に対する高評価を即ち本校の教育活動に対する評価と受止め、今後も継続されるよう努めていきたい。

基準 4 学習成果

<評価項目> 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

| | |
|---------------------|----|
| 就職率の向上が図られているか | …4 |
| 資格・免許取得率の向上が図られているか | …4 |
| 卒業生の社会的評価を把握しているか | …3 |

- ・進路変更もなく、就職希望者の就職率は100%に近い。学生の就職活動状況はクラス単位で綿密に把握し、内定に至るまで丁寧にサポートしている。求人先の美容・理容サロン始め理美容関連企業との協調関係の一層の緊密化を図り、個々希望通りの就職が叶うよう綿密なバックアップを継続する。
- ・国家試験では毎回高い合格実績を挙げており、今後も継続できるよう指導に努める。民間の理美容関連資格・検定試験等では試験によって合格者が少数に留まる場合もある。都度試験内容等を分析対策し、合格率向上に向けて指導内容の改善を図っていく。
- ・卒業生の動向は在学時の担任を介して把握しており、コンテスト等の受賞状況を知り得る機会も多い。

基準 5 学生支援

<評価項目> 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

基準 6 教育環境

<評価項目> 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

| | |
|-----------------------------------|----|
| 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか | …4 |
| 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか | …4 |
| 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか | …4 |
| 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか | …3 |

- ・施設・設備・機器類は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている。学内組織の施設管理課を始め教職員全体によって日常的な衛生管理・メンテナンス体制を確立している。毎日の清掃を学生・職員で行っていることが衛生管理に対する意識向上に繋がっており、今後も良き伝統として継承していきたい。
- ・海外研修等、学外実習の実勢体制は十分に整備されていると認識している。学校行事の実施に際しては積極的に学生に参画させており、行事によっては当初の企画立案から運営まで全面的に取り組ませている。
- ・防災・安全管理上において毎年定期的に消防訓練を実施しており、同時に防災への意識付けを行っている。また然るべき警備システムを導入し防犯対策を講じている。
- ・学内における安全管理においては各担当者を定めており、指揮連絡系統は明確にしてある。防災・安全等に関するマニュアルの整備が必要。

基準 7 学生の募集と受け入れ

<評価項目> 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

| | |
|--------------------------------|----|
| 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか | …4 |
| 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか | …4 |
| 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか | …4 |
| 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか | …4 |
| 経費内容に対応し、学納金を算定しているか | …4 |
| 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか | …4 |

学生募集活動においては従来校内ガイダンスへの参加や学校訪問等、高等学校等に対する情報提供に注力している。今後も活動を継続し本学に対する理解と認知度を高めたい。

- ・出願受付開始時期の設定等、学生募集活動は極めて適正に行っている。学校広報の専任担当者を増員し「広報部」を設置、学生募集上の広報活動の強化を進める。募集活動の内容・手法上、今後も真実性・明瞭性には特に留意して諸々の相談・問い合わせに対応できるよう、全教職員で共有する。

- ・関係法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っている。法令・基準の順守は当然の義務と認識しており、教職員にも学生にも徹底して示している。またハラスメント防止には殊更厳格であり教職員にも深く浸透している。
- ・個人情報保護については、教職員と個人情報を含む機密保持に関する誓約書を取交している他ネットワーク上にはセキュリティ対策を講じている。情報を扱うのは人間であるという点から、保護の根本的な重要性を徹底して啓蒙することが最善にして最良の策と考え、常々実施している。
- ・自己評価・学校関係者評価は共に実施し結果を公開しているが、実施規程や体制に更なる整備の余地がある。学校概要・教育内容等の情報をホームページで公開しており、今後も随時更新する。

基準 10 社会貢献

<評価項目> 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

| | |
|---------------------------------|----|
| 教育活動を通し業界への貢献をおこなっているか | …4 |
| 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | …3 |
| 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか | …4 |

- ・行政や地域等との連携は従来良好であり永きに渡って維持継続されている。教職員及び学生が校舎周辺の清掃活動を毎日行っている他、地域の行事にも積極的に参加している。学校施設・設備等の外部の貸し出しにも依頼があれば可能な限り応じている。また、理美容専門学校である特性を活かし、一般を対象とした着付セミナー、日本の伝統文化や年中行事に関するセミナー等を開催している。
- ・学校としては学生のボランティア活動を格段積極的に奨励している訳ではないが、活動を承認した場合は必要であれば支援している。
- ・「奉仕の精神」は元来ボランティア精神を示しており、各自が実生活において「奉仕の精神」を実践することが即ち社会貢献に通ずるものと考えている。